



ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 会社案内

変革を推進する

ジェニファー アンソニーさんは、インドのバンガロールで1型糖尿病とともに生きており、「Changing Diabetes® in Children(糖尿病の子供たちの未来を変える)」プログラムのケアを受けています。

ノボ ノルディスクは、1923年創立のデンマークに本社を置く世界有数のヘルスケア企業です。

私たちのパーザスは、糖尿病で培った知識や経験を基に、変革を推進し深刻な慢性疾患を克服することです。

その目的達成に向け、科学的革新を見出し、医薬品へのアクセスを拡大するとともに、病気の予防ならびに最終的には根治を目指して取り組んでいます。ノボ ノルディスクは現在、80カ国に約6万6,000人の社員を擁し、製品は約170カ国で販売されています。

目次

社長メッセージ	03
ノボ ノルディスクの歴史	04
ノボ ノルディスク フーマ株式会社について	05
ノボ ノルディスクの価値観	06
サステナブルビジネスアプローチの経営原則	07
慢性疾患の変革の推進	08
社会への取り組み	10
環境への取り組み	13
働く環境への取り組み	14
社員紹介	15

一目で見るノボ ノルディスク

糖尿病、肥満症、希少血液疾患および希少内分泌疾患の分野で働く



本 社: デンマーク

関連会社: 80カ国に関連会社があります¹。



製 品: 約170カ国でノボ ノルディスクの製品を販売しています¹。



患 者: 全世界で4,160万人の糖尿病や肥満^{注2}とともに生きる人々に製剤を提供しています。

世界で使用されるインスリン製剤の約半分はノボ ノルディスクの製品です¹。



R & D: 中国、デンマーク、インド、米国、英国に10カ所の研究開発センターがあります¹。



従 業 員: 世界で約6万6,000人を雇用しています¹。
日本では約1,000人が働いています。



生産拠点: 世界9カ国(アルジェリア、ブラジル、中国、デンマーク、フランス、日本、ロシア、イラン、米国)16カ所に生産拠点があり¹、国内唯一の生産拠点は、郡山工場(福島県郡山市)です。

注)【肥満と肥満症について】²

日本では、脂肪組織に脂肪が過剰に蓄積した状態で、体格指数(BMI)25以上のものが「肥満」と定義されています。「肥満症」は、肥満があり、肥満に起因ないし関連する健康障害を合併するか、その合併が予測され、医学的に減量を必要とする疾患と定義されています。

1. novonordisk.com, Accessed May 2024

2. 日本肥満学会編:肥満症診療ガイドライン2022, ライフサイエンス出版, 東京, 2022, p.1

「糖尿病で培った知識や経験を基に、変革を推進し深刻な慢性疾患を克服する」というパーパスのもと、社会に付加価値を与える持続可能な企業を目指しています

ノボ ノルディスクは、1923年にデンマークで設立されたグローバルヘルスケア企業です。「糖尿病で培った知識や経験を基に、変革を推進し深刻な慢性疾患を克服する」というパーパスのもと、創業より100年以上にわたり、糖尿病、肥満症、希少血液疾患、希少内分泌疾患とともに生きる方々の健康の改善を目指し、イノベーションや協業を推進してきました。

昨今は、糖尿病治療で築いてきた伝統を礎に、新たな疾患領域における研究開発を加速しています。また、医薬品の提供にとどまらない疾患の予防、治療へのアクセスの改善、環境への取り組みといった分野に変革をもたらすプログラムやパートナーシップを展開し、社会に付加価値を与える持続可能な企業を目指しています。

ノボ ノルディスクは、患者さんや社会にとっての利益を念頭に置き、「社会に対する責任」、「環境に対する責任」、「財務・経済に対する責任」の3つの責任を常に考慮し、長期的な視点でビジネスを行うサステナブルビジネスアプローチに則って事業運営を行っています。これは、私たちの会社の定款で定められた経営原則であり、世界中の従業員が共有する価値観であるノボ ノルディスク ウェイの中に明文化されています。

ノボ ノルディスクの日本法人であるノボ ノルディスク ファーマ株式会社は1980年に設立され、東京本社をはじめ、全国54カ所に営業拠点と、福島県に国内製造拠点である郡山工場があります。1,000名以上の社員が、既存ビジネスの成長の加速、より多くの患者さんと社会課題の解決に貢献すること、新疾患領域での成功の基盤を構築することを目指し、また、日々製品をお届けする患者さんに対して大きな責任を持ち活動しています。

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 代表取締役社長
キャスパー ブッカ マイルヴァン



ノボ ノルディスクは糖尿病をはじめとする慢性疾患の変革を推進しながら 100年以上の歴史を歩んでいます

ノボ ノルディスクのイノベーションの歴史

1921	インスリンの発見
	2名のカナダ人研究者が脾臓ホルモンの一種であるインスリンを発見
1922	北欧におけるインスリンの製造許可を取得
	ノボ ノルディスクの創立者の一人であるアウグスト クロウガ、インスリンを北欧で製造・販売する許可を取得 同じく創立者の一人であるハンス クリスチャン ハーゲンとともにインスリン製造を開始
1923	北欧初のインスリン製剤を発売
	死を待つかなかつた1型糖尿病の治療方法を変革 ノルディスク インスリン研究所の創設
1925	初のインスリン注入器を発売
	患者さんが安心して自分で正しい量のインスリンを注射できるように設計
1946	世界初の結晶性プロタミンインスリンを開発
	動物インスリンの作用時間の延長による、注射回数の削減を実現



グローバルの歴史

1950	1955	ノボ社のインスリン製剤が国内で流通開始	2000	2000	遺伝子組換え活性型血液凝固第VII因子製剤を発売
	1975	高度精製(モノコンポーネント、MC)インスリンの発売			リキッドタイプのヒト成長ホルモン製剤と専用のペン型注入器の発売
		製品の純度を高め、注射部位に頻発したアレルギー反応の軽減に貢献		2001	超速効型インスリンアナログ製剤を発売
	1976	ノルディスク社のインスリン製剤が国内で流通開始			食後のインスリン追加分泌をより忠実に再現し、食前注射が可能に 患者さんのニーズに応えたインスリンプレフィルド製剤を発売
	1977	下垂体抽出ヒト成長ホルモン製剤の発売		2004	ヒト成長ホルモンのペン型プレフィルド製剤を発売
	1980	ノボ薬品株式会社設立		2007	持効型溶解インスリンアナログ製剤を発売
	1984	日本ノルディスク株式会社設立、ノボ薬品厚木工場稼働		2010	GLP-1受容体作動薬を発売
		国内におけるインスリン製剤の安定供給を確保		2014	遺伝子組換え血液凝固第VIII因子製剤を発売
	1985	半合成ヒトインスリン製剤を発売		2015	配合溶解インスリン製剤を発売
		動物インスリンのアミノ酸配列を置換し、ヒト型のインスリン製剤を開発			1本のペンに持効型溶解インスリンと超速効型インスリンを配合 遺伝子組換え血液凝固第XIII因子製剤を発売
	1988	インスリンペン型注入器を発売		2018	ペグ化遺伝子組換え型血液凝固第IX因子製剤を発売
		インスリンカートリッジを装着しワンプッシュ2単位の自己注射が目立たず 簡便に実施できるように		2019	持効型溶解インスリンとGLP-1受容体作動薬の配合剤を発売
	1990	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社発足(ノボ薬品と日本ノルディスクが統合)		2020	ペグ化遺伝子組換え型血液凝固第VIII因子製剤を発売
	1992	ヒトインスリン(遺伝子組換え)製剤を発売		2021	経口GLP-1受容体作動薬を発売
	1994	インスリンプレフィルド製剤を発売		2022	投与データの無線転送機能を搭載したスマートインスリンペンを発売
		インスリンカートリッジと使い捨ての注入器があらかじめセットになった製剤で、 インスリンの自己注射はさらに簡便に		2024	GLP-1受容体作動薬(肥満症を適応とする)を発売 インヒビター保有先天性血友病AまたはBを適応とする 抗TFPIモノクローナル抗体を発売
	1998	郡山工場本格稼働			日本歴史
		ノボ ノルディスクの生産供給部門を代表する21世紀のモデル工場として稼働開始			

日本法人であるノボ ノルディスク ファーマ株式会社は1980年に設立されました

患者さん、医療機関の方々に、いつでも安心して使っていただける製品をお届けすることが、私たちの使命であると考えています。

ノボ ノルディスクのインスリン製剤は1950年代より国内に流通しており、糖尿病とともに生きる人々の治療改善に長らく貢献してきました。

日本法人は、前身であるノボ薬品株式会社が1980年に設立されたことからスタートし、1990年にノボ薬品と日本ノルディスク株式会社が統合し、ノボ ノルディスク ファーマ株式会社が発足しました。現在では約1,000人の社員が働いています。

会社概要

社名：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

設立：1980年6月20日

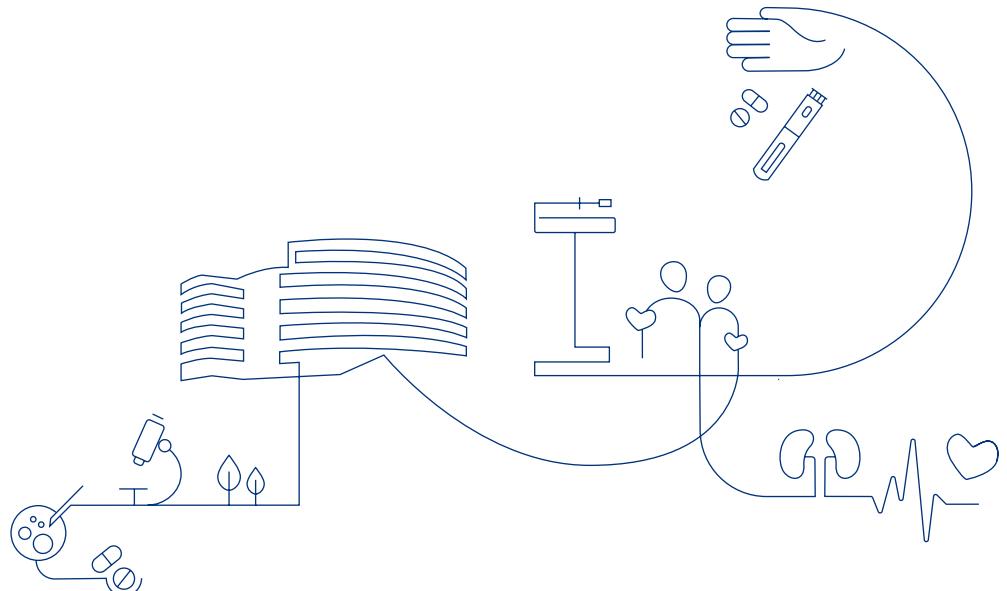
資本：21億405万円

代表者：代表取締役社長 キャスパー ブッカ マイルヴァン

株主：ノボ ノルディスク・リージョン・ジャパン&コリアA/S

事業内容：医療用医薬品、医療機器の開発、輸入・製造、販売

事業領域：糖尿病領域、肥満症領域、および希少血液疾患や希少内分泌疾患の治療薬を含む希少疾患領域



郡山工場(福島県郡山市)

ノボ ノルディスク ファーマは、1984年に神奈川県厚木市の工場で生産を開始し、その後、市場の拡大に伴い、1998年1月に福島県郡山市に工場を移転しました。郡山工場は、国内唯一の生産工場として、国内で流通する全ての当社製品について、高い品質を確保しつつ安定供給できるよう、最新鋭の技術と設備を駆使し、製品の受け入れから出荷までコンピューターで一元管理した生産を行っています。



The Novo Nordisk Way

ノボ ノルディスク ウェイは、私たちのあらゆる活動の指針となる価値観(バリュー)と行動様式(ビヘイビアズ)を示したものです。これは、1923年に糖尿病を克服するという野心的な取り組みを開始した創業者の理念とビジョンに根ざしています。

ノボ ノルディスクでは現在、世界中の何万人もの社員が同じ情熱とスキルを持ち、糖尿病で培った知識や経験を基に、変革を推進し深刻な慢性疾患を克服するというパーカスへのコミットメントを実践しています。

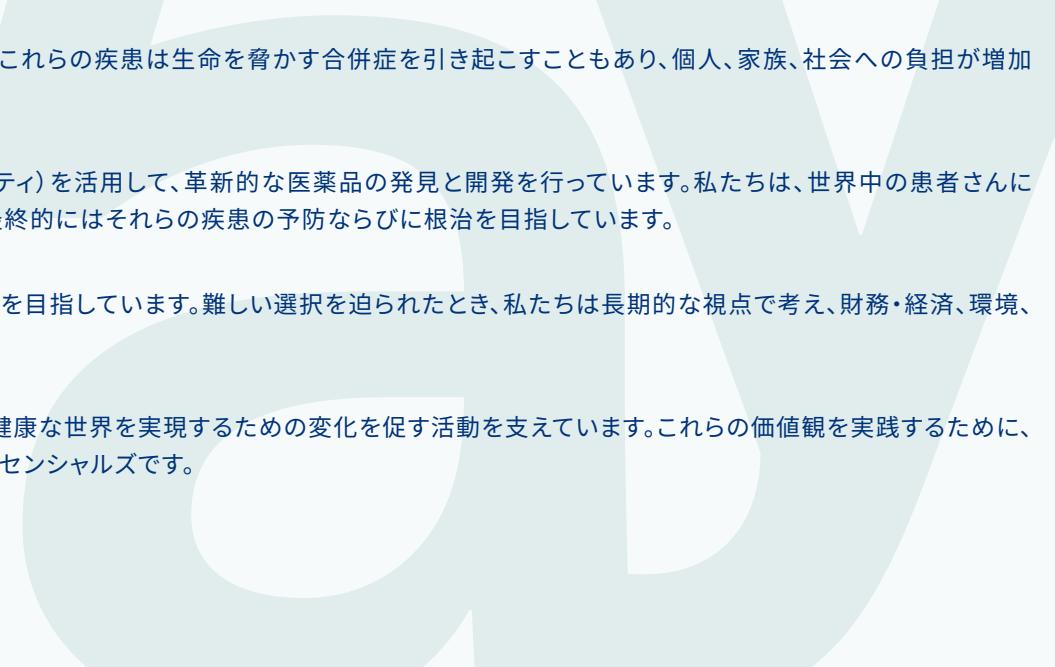
何億人の人々が慢性疾患とともに生き、世界で最も喫緊の健康課題となっています。これらの疾患は生命を脅かす合併症を引き起こすこともあり、個人、家族、社会への負担が増加しています。

ノボ ノルディスクは私たちのパーカスを実現するため、核となる能力(コア ケイパビリティ)を活用して、革新的な医薬品の発見と開発を行っています。私たちは、世界中の患者さんにこれらの医薬品を提供することで、当社が事業を手がける全ての疾患領域をリードし、最終的にはそれらの疾患の予防ならびに根治を目指しています。

ノボ ノルディスクは、持続可能なビジネスを推進することで、社会に価値を提供することを目指しています。難しい選択を迫られたとき、私たちは長期的な視点で考え、財務・経済、環境、社会的な責任を果たすことが将来につながることを理解しています。

オープンである、説明責任を果たす、人々を尊重するという当社の重要な価値観が、より健康な世界を実現するための変化を促す活動を支えています。これらの価値観を実践するために、ノボ ノルディスクの社員一人ひとりの意思決定と行動の指針となるのが、10項目のエッセンシャルズです。

エッセンシャルズ

- 
1. 私たちは、患者を中心としたビジネスアプローチをとることによって価値を創造します。
 2. 私たちは、意欲的な目標を設定し、それを達成するためにエンパワーされています。
 3. 私たちは、財務・経済、環境、社会面における業績に対して責任を持ちます。
 4. 私たちは、好奇心を持ち、患者さんと社会全体の利益となるイノベーションを創出します。
 5. 私たちは、ステークホルダーと良好な関係を構築し、維持します。
 6. 私たちは、多様性を尊重し、すべての人に敬意を持って接します。
 7. 私たちは、業績と一人ひとりの能力開発を重視します。
 8. 私たちは、健全で魅力的な職場環境を整えます。
 9. 私たちは、あらゆる行動においてアグリティとシンプリシティを追求します。
 10. 私たちは、クオリティと倫理について決して妥協しません。

サステナブルビジネスアプローチの経営原則に沿い バランスのとれた意思決定をしています

ノボ ノルディスクは、社会、環境、財務・経済に対して責任を果たしていくことが、長期的にビジネスを成功させる基盤であると考えています。

ノボ ノルディスクでは患者を中心にはじめ、社会、環境、財務・経済の3つの側面で責任を果たし、短期的な売り上げと長期的な利益のバランスをとった意思決定を行うことを経営の原則として定款に明記しています。

サステナブルビジネスアプローチでは、私たちのパーソナルである「変革を推進し深刻な慢性疾患を克服する」をトライアングルの中心に据え、私たちが日々製品をお届けする何百万人もの患者さんに対して担う責任を示しています。このパーソナルにより導かれた事業活動を行い、社会に付加価値を提供し、持続可能な企業であることを目指しています。



慢性疾患の変革を推進する

ノボ ノルディスクの事業は「糖尿病で培った知識や経験を基に、変革を推進し深刻な慢性疾患を克服する」という明確なパーパスを中心に構築されています。

ノボ ノルディスクの重要な貢献は、革新的な治療薬を創出し、世界中の患者さんに届けることです。

糖尿病

糖尿病はノボ ノルディスクの手がける主力の疾患領域で、自己注射で使用するインスリン製剤やGLP-1受容体作動薬を取り扱っています。インスリン製剤では、食事の直前に投与する超速効型インスリン製剤や、1日1回投与する持効型溶解インスリン製剤、超速効型と持効型溶解インスリンを配合した配合溶解インスリン製剤、そして持効型溶解インスリンとGLP-1アナログを配合した製剤など幅広い製品を取りそろえています。さらに、投与データの無線転送機能を搭載したインスリンペン型注入器であるスマートインスリンペンを販売しています。

GLP-1(グルカゴン様ペプチド-1)は、食事に反応して腸管から分泌されるホルモンで、世界で初めて、ヒトGLP-1アナログを糖尿病治療薬として応用しました。自己注射での治療においては、注射ができる限り簡便で正確に行えるように、革新的で耐久性の高いプレフィルド型注入器も豊富に展開しています。また、注射剤だけでなく、世界で初となる経口のGLP-1受容体作動薬も開発し、販売しています。



ノボ ノルディスク研究所
デンマーク

希少内分泌疾患

ノボ ノルディスクは50年以上の歴史を持つ成長ホルモン療法のパイオニアです。ノボ ノルディスクは世界で初めてカートリッジに充填したリキッドタイプの成長ホルモン製剤を開発し、今では世界で最も多く使われています。2021年には成人成長ホルモン分泌不全症(重症に限る)を適応とし、2024年には骨端線閉鎖を伴わない成長ホルモン分泌不全性低身長症を追加適応として、週1回投与の長時間作用型ヒト成長ホルモンアナログ製剤の発売を開始しました。これからも治療を必要とする患者さんの生活改善にイノベーションで貢献します。

希少血液疾患

ノボ ノルディスクは、血友病や血液凝固異常症の止血治療におけるアンメットメディカルニーズに応えるため、遺伝子組換えタンパク質の開発・製造の知見を活用し、治療薬の研究・開発・提供を行っています。現在では、インヒビター保有または保有しない血友病AまたはB、そして非常に稀な疾患であるグランツマン血小板無力症、血液凝固第VII因子欠乏症、血液凝固第XIII因子欠乏症の治療薬を提供しています。2024年には、インヒビター保有先天性血友病AまたはBを適応とする抗TFPIモノクローナル抗体の販売を開始しました。

肥満症

肥満症は、遺伝的、身体的、心理的、社会経済的要因等、複合的な要因から成る疾患です¹。それゆえに、食事・運動療法のみでは、効果的な減量を達成し、健康障害および健康障害リスクの改善を図ることが難しい場合が多く、薬物療法を含むさらなる医療介入が必要です¹⁻³。

肥満症治療によって、QOLの低下(および死亡率の増加)や、社会的なコストの増加を引き起こす、多くの心血管疾患や深刻な慢性疾患のリスクが改善する可能性があります⁴⁻⁷。

肥満症ケアにおける重大なアンメットメディカルニーズに応えるべく、2024年に肥満症を適応とした週1回投与のGLP-1受容体作動薬の販売を開始しました。

1. Ogawa W et al.: Endocr J. 2024; 71(3) : 223-231.
2. Nordmo M et al.: Obes Rev. 2020; 21(1) : e12949.
3. Horn DB et al.: Postgrad Med. 2022; 134(4) : 359-375.
4. The Look AHEAD Research Group et al.: Lancet Diabetes Endocrinol. 2016; 4(11) : 913-921.
5. Sjöström L et al.: JAMA 2012; 307(1) : 56-65.
6. Saiki A et al.: Ann Gastroenterol Surg. 2019; 3(6) : 638-647.
7. Lincoff AM et al.: N Engl J Med. 2023; 389(24) : 2221-2232.



ノボ ノルディスクは、患者さんが慢性疾患を克服し、より良い生活を送るためのさまざまな活動に取り組んでいます

慢性疾患を克服することを目指し、ノボ ノルディスクは日々革新的な製剤の開発を続けています。そして、これまで多くの患者さんが抱える課題に応えてきました。しかし、製剤だけで全ての課題を解決できないことも事実です。真の意味で慢性疾患を克服するために、ノボ ノルディスクでは、患者さんの心理的・社会的な課題も解決するためのさまざまな取り組みを行っています。

都市環境における深刻な慢性疾患の予防に取り組む－まちが元気を創り出す～Cities for Better Health～

「まちが元気を創り出す～Cities for Better Health～」は、パートナーシップを通じて都市環境における深刻な慢性疾患を予防するための行動を推進する官民パートナーシッププログラムです。ノボ ノルディスクは、世界45都市以上において、予防に対するパートナーシップを構築し、意義のある行動を推進することを支援しています。この予防への取り組みを通じて、地域における健康格差を解消し、持続可能なヘルスケアシステムを構築することを目的としています。

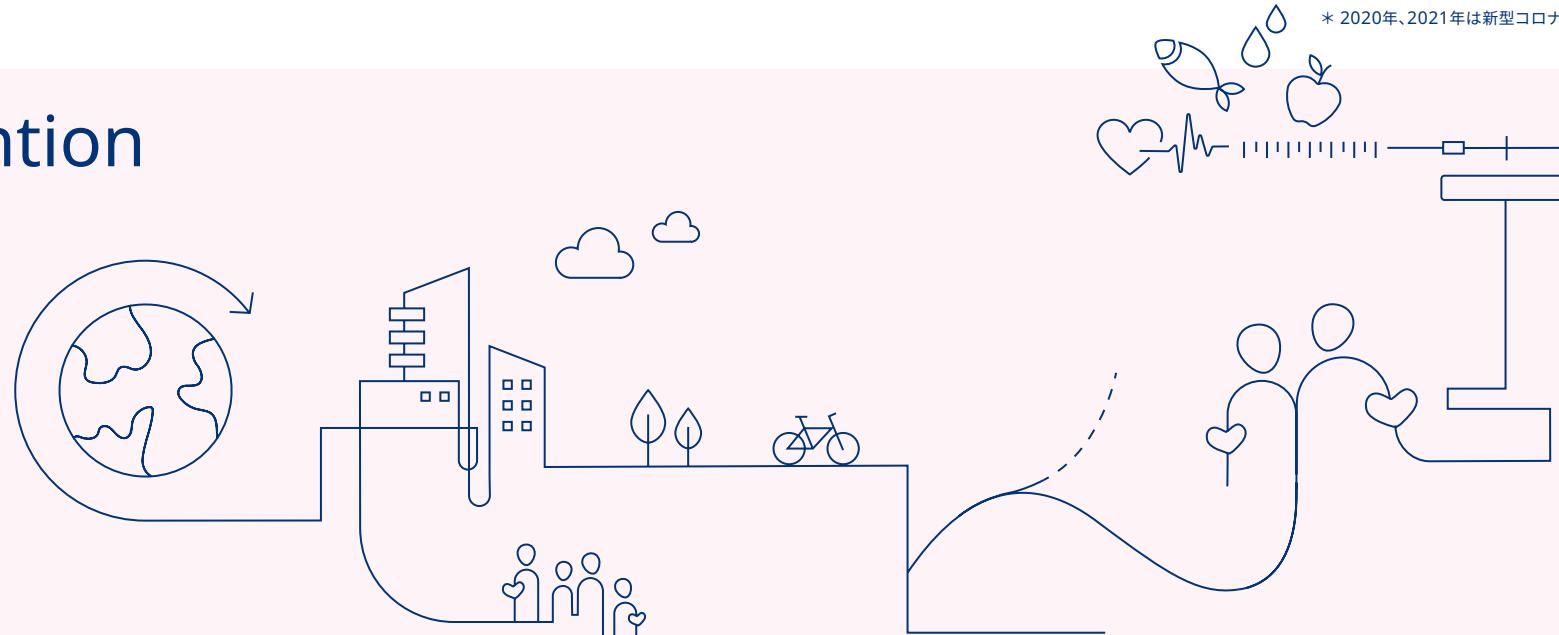
日本においては、2018年から福島県郡山市および福島県立医科大学、2021年から千葉県旭市および千葉大学医学部附属病院でCities for Better Healthを実施しています。

糖尿病とともに生きる人々の学ぶ機会を提供する－歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー*

糖尿病とともに健康的に暮らすことの重要性について広めるため、ノボ ノルディスクは公益社団法人日本糖尿病協会と1992年から「歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー」を共催しています。全国で開催されている本イベントは、糖尿病とともに生きる人々が友人や家族とともに糖尿病に関する講演やゲームなどを通じて、良好な血糖管理のために必要な知識や、糖尿病治療に欠かせない運動療法について楽しく学ぶ機会を提供しています。2022年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行による影響で、対面形式でのイベント開催が難しい状況を踏まえ、ウォーキングアプリ「そとでる」をローンチしました。このアプリでは、ウォーキングの距離や時間などを記録することができます。また、このアプリを活用し、運動療法について楽しく学ぶイベントとして、「歩いて学ぶ糖尿病バーチャルウォークラリー」も開催しました。2023年は、4年ぶりに対面での開催を再開しました。

* 2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止

Prevention



ノボ ノルディスクは糖尿病とともに生きる人たちが、もっと自分らしく、ずっと笑顔で暮らせるように支え続けます

糖尿病とともに生きる人々へ勇気を与え応援する—チーム ノボ ノルディスク

チーム ノボ ノルディスクは、世界初の全員が糖尿病とともに生きるプロサイクリストで構成された、世界で活躍するサイクリングチームです。チーム ノボ ノルディスクの共同設立者 兼 CEO のフィル サザーランド氏とノボ ノルディスクが、糖尿病とともに生きる世界中の人々を元気づけ、治療に積極的に取り組み、それぞれの人生の目標に向けて生きていくことを応援するという共通のビジョンに基づき、2012年、チーム ノボ ノルディスクを設立しました。

選手自らがお手本となり、世界トップクラスのレースに挑戦し「糖尿病を抱えていてもできること」を示すことによって、糖尿病とともに生きる人々を励まし、夢を追い続けていくための希望を与えています。

1型糖尿病の子供たちが病気とともに生きる力につける手助けをする—思い出のサマーキャンプスケッチコンクール

絵を描くことで観察力を鍛え、自分自身の身体を把握する力を高め、血糖管理に生かしてほしいという願いを込め、2001年より、「小児糖尿病サマーキャンプ」(主催:公益社団法人日本糖尿病協会)の参加者を対象に「思い出のサマーキャンプスケッチコンクール」を実施しています。2020年からはスケッチに加えて、作文も募集しています。

ノボ ノルディスクでは、糖尿病とともに生きる人々やそのご家族に、糖尿病に関する情報や、糖尿病とともに前向きに過ごしてもらうための役立つ情報を提供するWebサイトである「糖尿病サイト」を運営しています。

詳しくはこちらから

糖尿病サイト



希少疾患領域では治療薬の提供を超えた取り組みを行っています

希少疾患領域では現在、血友病や血液凝固異常症、成長障害のための治療薬を主に取り扱っています。これらの疾患の患者数は糖尿病ほど多くないものの、診断と治療を適切に行なうことが、患者さんやご家族のQOL改善に重要です。ノボ ノルディスクは「患者さんのQOLを向上させる」というゴールに向かって、さまざまな方向から全力で取り組んでいます。

血友病に対する取り組みー血友病と生きる人々のより良い明日を築くために

ノボ ノルディスクは、Changing Haemophilia®(血友病と生きる人々のより良い明日を築くために)のコンセプトのもと、製品の研究・開発や供給を行うとともに、血友病や血液凝固異常症とともに生きる人々の治療と人生に貢献するためのさまざまな取り組みを行っています。血友病は途上国では診断率や治療への認識が低い疾患であり、多くの患者さんが今も診断や十分な治療を受けることができていない状況です。2005年に設立したノボ ノルディスク血友病財団(NNHF)では、途上国における血友病の疾患啓発・医療従事者の能力開発、血友病患者さんの診断と登録を3つの柱としたプログラムを展開し、血友病治療の向上に努めています。日本では、血友病患者さんのための運動イベントや啓発活動を4月17日の「世界血友病デー」に合わせて開催したり、患者さんとご家族向けのWebサイト「クラブヘモフィリア」(www.clubhaemophilia.jp)で、血友病と生きる方々のためのさまざまな情報を提供しています。

成長障害に対する取り組みー成長ホルモン治療に関わる全ての人の幸せのために

子供の身長には個人差があり、成長過程において身長差が生まれるのは当然です。ただ、低身長の子供のなかには、医学的な原因が隠れているケースがあることもわかっています。

ノボ ノルディスクは、こうした子供の低身長症の早期診断、早期治療を目的とした啓発活動を行っています。

全国各地で小児科医師や医療従事者に対して、子供の成長や成長障害を起こしうる疾患に関する情報提供を行い、早期診断・早期治療の重要性について訴求しています。

また、疾患啓発と成長曲線の普及促進を目的とした「わが子の身長 はかろう！つけよう！」キャンペーンを2011年から実施しています。子供の低身長について分かりやすく解説したパンフレットや身長測定ポスターを無料で配布しています。

また、2017年からは、お子様の身長と体重を簡単に入力し、成長曲線に記録ができるスマートフォン向けアプリ「すくすく成長曲線」を無料で提供しており、2020年には成長障害・低身長のお子様のための相談室「nordicare.jp」をリニューアルしました。



ノボ ノルディスクは、環境への影響ゼロの実現を目指しています

環境戦略「Circular for Zero – 循環型ビジネスで環境負荷ゼロを実現する –」

この環境戦略を通じて、リサイクルや再利用可能な製品設計、ビジネスの手順を見直すことによる消費の最小化と廃棄物の削減、そして志を同じくするサプライヤーとの協働に取り組んでいます。

ノボ ノルディスクは、2020年に全世界の自社生産設備で使用する電力の100%再生可能エネルギーを達成しています。さらに、持続可能なビジネスの実現のためノボ ノルディスクは、2045年までにCO₂排出量を実質ゼロ（ネットゼロ）にするという目標を掲げています。中間目標としては、2030年までに、全ての供給を100%再生可能エネルギーにすること、全ての事業活動および輸送にかかるCO₂排出ゼロにすることを目指しています。2023年には、事業活動および輸送によるCO₂排出量を、2019年から34%削減しています。

国内では郡山工場が、2016年に電力の再生可能エネルギー化100%、2018年に工場におけるCO₂排出量ゼロを実現しています。2020年7月には、工場の敷地内に太陽光発電設備を導入し、発電した電力を自家消費することで環境負荷低減を図っています。また、2023年からは東京本社と54カ所の営業拠点で使用する電力も再生可能エネルギー100%を達成しています。

circular
FOR
zero

– 循環型ビジネスで環境負荷ゼロを実現する –



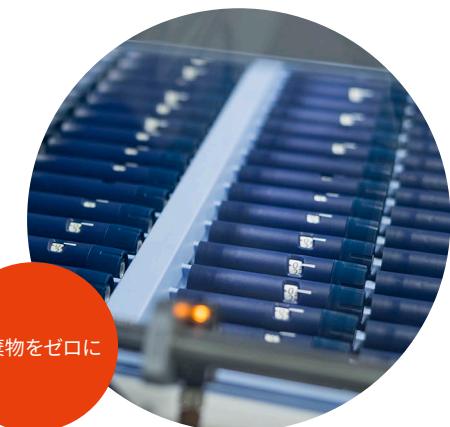
全ての供給を
100%再生可能
エネルギーに

循環型供給



オペレーションと
輸送で排出される
CO₂をゼロに

循環型企業



廃棄物をゼロに

循環型製品

「ReMed™(リメッド) 使用済み医療機器に、新たな使命を。」の試験運用を開始

「ReMed™」とは、使用済みのプレフィルド型ペン型注入器を収集し、プラスチック部分をリサイクルする取り組みです。ノボ ノルディスク ファーマは、パートナー会社のサポートを受け、東京都と神奈川県の一部の指定薬局において、試験運用を2024年3月12日から開始しました。このリサイクルを目的とするプレフィルド型ペン型注入器の収集は、日本初の取り組みです。

77%がプラスチックからできているプレフィルド型ペン型注入器は、国内では市区町村の収集や医療機関等への持参を通じて、焼却・埋立処分されています。こうした現状を変革し、プラスチック廃棄物（フットプリント）の削減に取り組み、持続可能な資源循環を目指すべく取り組みを開始しました。

詳細は、Webサイトをご確認ください。

<https://www.novonordisk.co.jp/sustainable-business/remed.html>

ReMed™

使用済み医療機器に、新たな使命を。



ノボ ノルディスク ファーマが目指す「ダイバーシティ&インクルージョン3.0」

私たちはあらゆる多様性が受け入れられる職場環境を実現し、ノボ ノルディスク ウェイが定義するオープンで正直な文化の醸成を目指します。これにより、社員一人ひとりが自分自身の能力を発揮できるフィールドを生み出すと信じています。



持続可能な報酬

毎年1回社員の報酬が平等であるか、持続可能であるか、全社員の報酬を確認しています。



採用面接官の多様性

多様な人材をバイアスなく採用するため、採用面接を担う社員のダイバーシティを可能な限り確保しています。



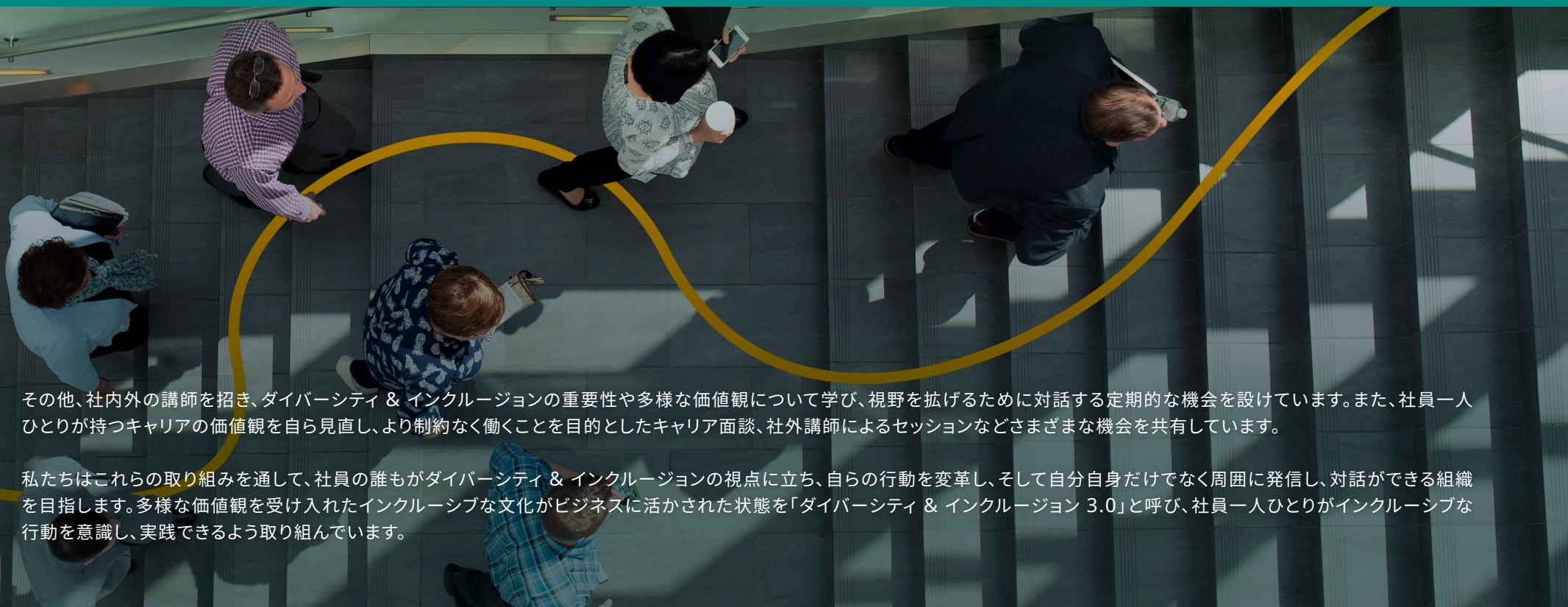
従業員サーベイ

1年に1回の従業員エンゲージメントサーベイではインクルージョンインデックスを導入し、ダイバーシティ & インクルージョンの可視化を可能にしています。



業務と育児の両立支援

社員のキャリアと育児の両立を支援する制度として、産前産後休暇や育児休業に加えてベビーシッター派遣事業を活用できます。



その他、社内外の講師を招き、ダイバーシティ & インクルージョンの重要性や多様な価値観について学び、視野を広げるために対話する定期的な機会を設けています。また、社員一人ひとりが持つキャリアの価値観を自ら見直し、より制約なく働くことを目的としたキャリア面談、社外講師によるセッションなどさまざまな機会を共有しています。

私たちはこれらの取り組みを通して、社員の誰もがダイバーシティ & インクルージョンの視点に立ち、自らの行動を変革し、そして自分自身だけでなく周囲に発信し、対話ができる組織を目指します。多様な価値観を受け入れたインクルーシブな文化がビジネスに活かされた状態を「ダイバーシティ & インクルージョン 3.0」と呼び、社員一人ひとりがインクルーシブな行動を意識し、実践できるよう取り組んでいます。

自らキャリアを切り開く社員の紹介

後輩の成長とともに感じる自分の成長、これが自分自身のキャリアを築く鍵になる

2016年に大学卒業後ノボ ノルディスクに入社し、現在は東京近郊の大学病院、基幹病院を中心に、希少疾患である血友病の患者さんが使う製品を担当する営業として働いています。入社して5年後の2020年、新卒で入社した後輩の教育係を担いました。初めての新入社員の教育係をコロナ禍で経験し、当初は手探り状態だったことを覚えています。しかし新入社員の成長とともに自分自身の成長を実感し、お互いの成長の喜びや仕事の楽しさを改めて発見する機会になりました。

教えることでともに成長する——私が自分自身のキャリアを築いていく上でのターニングポイントを迎えたような気がしています。

ノボ ノルディスクの価値観である「患者さん中心のビジネスアプローチ」を忘れずに、これから多くの医療従事者の皆さんと患者さんの治療について前向きに話し合える、ノボ ノルディスク ウェイを体現する社員になることが私の目標であり、自分自身で築くキャリアの柱になると信じています。

S.I.

2016年に新卒で入社後、千葉県と東京都の一部でヘモフィリア(血友病)領域を担当する営業職として配属。
現在は東京都内の大学病院、基幹病院を担当。

現在臨床開発部門にて数多くの治験に関わっています。ノボ ノルディスクには糖尿病だけでなく、多くの疾患領域において新薬の候補となる豊富なパイプラインがあります。今後も色々な疾患領域の新薬開発に携わり、将来は自ら治験をマネジメントし、成功させ、新薬を市場に送り出すことを目標にしています。

D.S.

2017年に新卒で臨床開発部門に入社。
多くの国際共同治験の遂行に従事。



マネジャーになったのは私にとってのキャリアのゴールではありませんでした。まずは自分自身やチームメンバーのキャリアに真剣に向き合えるリーダーになること。そして一人ひとりの社員が自身のキャリアを築くことで継続した成長ができる強いチームとなり、ノボ ノルディスクの製品を世界中のさまざまな患者さんに届ける、それが私と私のチームの目標です。

S.K.

九州の一部地域を管轄するセールスマネジャー、2021年より現職。2016年に中途入社、2021年7月に現職に着任。



life-changing careers

ここには、人生を変える仕事がある。

初めての教育係を担った後輩の成長とともに感じたのは自分の成長であり、それに気付いたときが私のキャリアを築く上でのターニングポイントでした。自らのキャリアは会社から与えられるのではなく、自分で選択し、切り開き、築き上げるものです。私がプロフェッショナルであることは「患者さん中心のビジネスアプローチ」を通して医療に貢献できる機会をより多く創出することにつながると実感しています。

(2016年新卒入社。現在は東京近郊を担当する営業職)

ノボノルディスク ファーマ株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-1-1

明治安田生命ビル

TEL. (03) 6266-1000 (代表)

FAX. (03) 6266-1800

www.novonordisk.co.jp



<https://twitter.com/NovoNordiskJP>

<https://www.youtube.com/@user-pz8ij4er7x>

JP24NNG00008 (2024年6月作成)

